

第12回女性起業家大賞・スタートアップ部門 特別賞

介護の仕事に「やりがい」と「誇り」を

ベストパートナー介護株式会社 代表取締役社長 山本 美穂



介護人材教育、介護起業支援などを実施し、県内初の介護職員初任者研修認可事業所に

「人は宝」をモットーに  
介護者の心を育てたい

早くに夫が病死し、看護師として15年、その後は介護支援専門員として働きながら3人の子どもを育て、40代で起業しました。遅いスタートだったかもしれませんが、この年齢だからこそクリアできたことも多く、今では回り道をして良かったと思っています。

起業当初のメイン事業は、介護コンサルタントとしての介護事業所の創業支援でした。その中で社員の研修業務などに関わるうち、強く感じるようになったのが「人は宝」ということ。人財＝実際に介護を行う人材の質が良くなければ、どんなに良い介護事業所を目指しても限界があるのです。

そこで立ち上げたのが、職業訓練校「ベストケアスクール」です。ただ資格を取るだけでなく、介護の仕事にやりがいと誇りを持ち、プロとして働ける人材を育てることを目標にした学校で、現在では公共職業訓練実施校として県内初の介護職員初任者研修（旧・訪問介護員養成研修）を行っています。研修時間は通常の3倍ですが、生徒はテキスト代だけの負担で受講

できるほか、カリキュラムには職業能力基礎訓練やビジネスマナー、パソコン、介護事務などの就職支援も含まれています。

当校で何よりも大切にしているのが「心」を育てること。介護はとても大変な仕事です。ただの作業になってしまえば、やりがいも感じられず、忙しさに消耗してしまいます。「傾聴」という言葉があるように、相手の話をただ聞くのではなく、全てに注意を払い、より深く、丁寧に耳を傾けることで、相手の伝えたいことを言葉以外にもくみ取る。技術とともに、そんな介護者に必要不可欠な心を私たちは教えているのです。

おかげさまで、介護の心を胸に巣立った1000人近い卒業生の就職率はほぼ100%と、大変うれしい結果となっています。離職率も非常に低く、採用した事業所からは、今後も継続して当校の卒業生を迎えたい、と高い評価をいただいています。

教育事業で地域活性化

日立市内も他の地方都市と同様に高齢化が進み、商店街は空き店舗ばかりが目立つ状況です。そこ

で、今年7月、当校の日立校を商店街の真ん中に移転させました。生徒により良い環境を提供すると同時に、少しでも地域の活性化に貢献できれば、と考えたのです。介護を学ぶ生徒と高齢者、商店街の住民が、何かの形でつながっていることを願っています。また、学校としては、卒業生がさらに上位の資格を取得できるよう、より高度な研修を取り入れることを目指しています。

日立商工会議所には、全国でも珍しい女性起業家たちの交流グループ「みゅーずnet」があり、私は会長を務めています。会員数は約50人、来年10周年を迎えます。将来的には、グループのネットワークを生かしてメンバーが相互に連携できる体制を強化し、事業内容をますますレベルアップしていきたいと思っています。



ベストパートナー介護株式会社  
(茨城県日立市)

平成21年創業  
介護総合事業（介護・その他の職業訓練、  
通所介護事業所の運営など）